

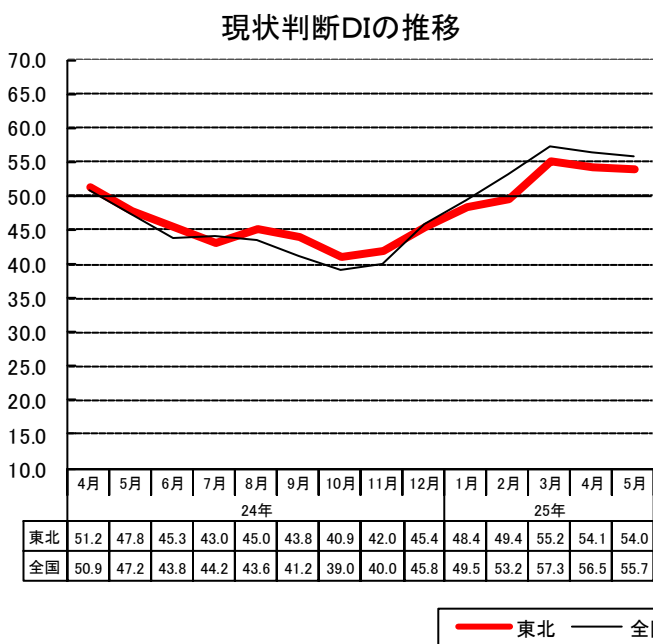
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 25 年 5 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 25 年 5 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI「54.0」（▲0.1）は、2か月連続で前月を下回ったものの、景気判断の基準となる 50 を 3 か月連続で上回った。



- ・家計動向…円安の影響で輸入原材料を使用した食品が値上りし、消費に悪影響を与えている。DIは「52.1」（▲0.5）と2か月連続で前月を下回ったものの、基準値 50 を 3 か月連続で上回った。

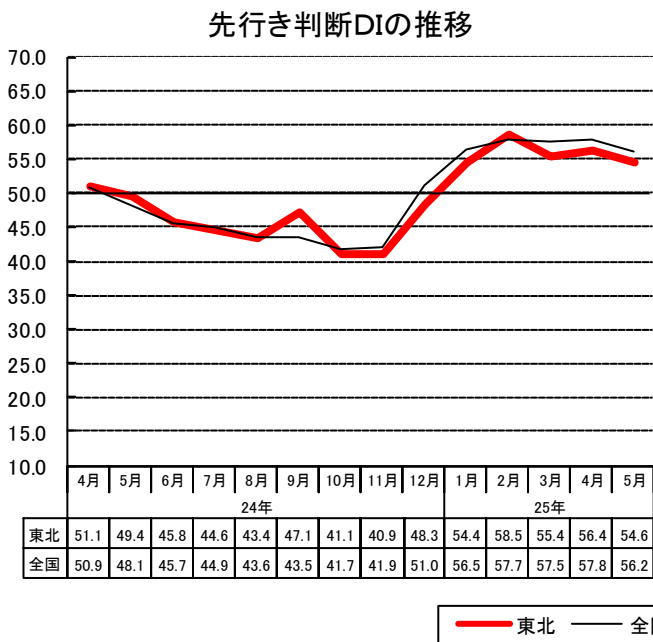
- ・企業動向…多くの業種で受注量や販売量が改善している。DIは「59.5」（+3.5）と2か月ぶりに前月を上回り、基準値 50 を 5 か月連続で上回った。

- ・雇用動向…DIは「55.7」（▲4.5）と2か月連続で前月を下回ったものの、基準値 50 を 5 か月連続で上回った。

- ・プラスのキーワード：(なし)
- ・マイナスのキーワード：値上げ

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI「54.6」（▲1.8）は、2か月ぶりに前月を下回ったものの、景気判断の基準となる 50 を 5 か月連続で上回った。



- ・家計動向…賞与支給による消費増への期待はあるものの、輸入品および公共料金の値上げによる影響が懸念されている。DIは「53.5」（▲1.2）と2か月ぶりに前月を下回ったものの、基準値 50 を 5 か月連続で上回った。

- ・企業動向…円安による原材料費の値上げのためコスト圧迫が危惧されている。DIは「57.1」（▲3.6）と3か月連続で前月を下回ったものの、6か月連続で基準値 50 以上となった。

- ・雇用動向…DIは「56.8」（▲2.3）と3か月ぶりに前月を下回ったものの、基準値 50 を 6 か月連続で上回った。

- ・プラスのキーワード：(なし)
- ・マイナスのキーワード：値上げ

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	24年										25年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
東北現状	51.2	47.8	45.3	43.0	45.0	43.8	40.9	42.0	45.4	48.4	49.4	55.2	54.1	54.0	
家計動向関連	50.2	47.0	42.7	41.0	43.4	42.1	41.0	41.1	45.7	45.3	46.4	53.6	52.6	52.1	
企業動向関連	47.5	46.9	48.8	46.3	46.3	45.1	37.2	42.5	43.1	53.6	55.5	57.3	56.0	59.5	
雇用関連(参考)	64.8	54.5	55.7	50.0	53.4	52.3	47.7	46.6	47.7	59.1	58.0	61.4	60.2	55.7	

(2) 先行き判断D I

	24年										25年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
東北先行き	51.1	49.4	45.8	44.6	43.4	47.1	41.1	40.9	48.3	54.4	58.5	55.4	56.4	54.6	
家計動向関連	49.5	49.3	43.8	43.3	40.2	46.2	40.2	39.2	47.4	52.9	58.4	53.6	54.7	53.5	
企業動向関連	55.6	48.8	49.4	48.8	50.6	49.4	42.1	45.0	50.0	59.5	61.6	61.0	60.7	57.1	
雇用関連(参考)	53.4	51.1	52.3	45.5	51.1	48.9	44.3	44.3	51.1	54.5	53.4	56.8	59.1	56.8	

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 25 年 5 月 25 日～31 日

回答者数 208/210 名、回答率 99.0%(全国 1,879/2,050 名、91.7%)

以上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 佐藤(健))

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-222-3394 FAX : 022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（建設業）…公共工事を中心として受注量が拡大傾向にある。

○「やや良くなっている」

（医薬品販売店）…単価の動きについて、通常、5月であれば3,200円位であるが、微々たるものだが50円ほど増加している。また、単価に加え販売量の動きも良くなっている。

（寝具販売店）…客先を訪問すると、天候の変化とともに徐々に反応が見られるようになってきている。カーテンの付け替えや、押入れの整理などをしたいという客が出てきている。

（百貨店）…高額商品の動きは、海外ブランド、宝飾時計を中心に引き続き好調に推移している。衣料品については5月に入り寒暖の差が激しく、上昇方向には向かないものの、雑貨が帽子、傘などの季節商材を中心に好調で、全体を押し上げている。

（乗用車販売店）…今まで購入を渋っていた客が購入を決断するようになってきている。

（住関連専門店）…金額のはる商品を買いたい客は少ない。ただし、小間物を買ってくる客が増えており、来客数の動きは良い。

（酒類専門店）…まだまだ景気の良さが顕著にみられることはないが、週末は販売量がここ最近にないほど多く、忙しい日もある。2、3月はそういったことがなかったことから、中央の景気の良さが徐々に地方まで届いているといえるのかもしれない。

（観光名所）…ここにきて来客数が非常に伸びてきている。大手の団体が募集する募集物ではなく、個人客もしくは友人たちと動くような小団体が増えてきている。それに伴って売上も増加している。

（電気機械器具製造業）…円安の影響及び携帯電子機器用部品の需要の増加が好調の主な理由である。

（輸送用機械器具製造業）…売上高は右肩上がりになってきたが、海外とのコスト競争は一層厳しく、生産性向上に注力していかなければ利益に繋がらないのが現状である。

（飲食料品卸売業）…首都圏向け、県内向け共に出荷状況が良い。全体的に飲食店向けの出荷が調子良く、県内については、大型観光キャンペーンの経済効果を直接受けているという手ごたえがある。

（人材派遣会社）…タイミングも考えられるが、人員不足の解消のため求人掲載顧客が採用基準を落とし採用をする動きが出ていることが、リピート掲載の減少からも見て取れる。

○「変わらない」

（商店街）…大型店は好調だといった話を聞くが、中小零細店には対岸の話に聞こえる。ゴールデンウィークは好天に恵まれたため、身の回り品を扱う店は良かったとの声もあるが、飲食店は競争の激化から苦戦とも聞かれる。商店街全体としてはあまり変わらない。

（百貨店）…2月も後半からの寒波により季節商材が苦戦したが、5月もなかなか気温が上がらず季節商材、特にミセスの初夏物アパレルが苦戦している。食品もデイリー商材は、客が価格にシビアになっており苦戦している。

（スーパー）…円安の影響で、各メーカーの値上げラッシュが続いている。サラダ油、小麦粉、輸入フルーツなど、輸入品の高騰による若干の値上がりで、客の買い控え等が発生しており、来客数は通常であるが、買上点数がやや下がっている。

（コンビニ）…来客数は前年比で微減が続いている。ゴールデンウィーク後半の天候不順が響いたこともあるが、競争環境の変化が一巡するまでこの傾向は続く。

（衣料品専門店）…5月からクールビズを開始した企業も多いが、スーツやビジネスシャツは前年までに購入した人も多く、購入客が減少している。

（一般レストラン）…当社はどちらかというと低価格の外食であり、牛丼を始めコンビニとかなりバッティ

ングするので、来客数も増えていない。

(都市型ホテル) …宿泊部門は、大型の全国大会を始め、大会や学会の件数も多くかなり期待していたが、会場周辺のホテルに吸収され、それ以外のホテルへの波及効果はほとんどなかった。一般宴会及びレストランはほぼ予算通りに推移している。

(食料品製造業) …JRのデスティネーションキャンペーン期間中ということもあり、売上は前年より若干プラスになっている。

(金融業) …円安株高でマインドは改善してきているが、実態面で資金ニーズが出てきているわけではない。

(経営コンサルタント) …居酒屋では価格志向の店よりもメニューの質を重視する店の入りが良くなっている。

(企画業) …取引先の住宅会社が事業清算を余儀なくされた。震災需要はあったものの資材費や労賃の上昇を販売価格に転嫁できなかったことが主因である。また、大工の人手不足から工期対応にも難儀したようである。これは1社だけの問題ではないとの声が業界から聞こえている。

(職業安定所) …有効求職者数は前年秋以降、前年比増加を続けている。また、好転を続けていた有効求人倍率もやや低下し、足踏み状態となっている。

(民間職業紹介機関) …地域性もあるが、除染や建設といった復興事業や福祉事業、運送事業の求人が数多くある。一方で、製造業の求人が皆無に近い。

○「やや悪くなっている」

(観光型ホテル) …震災復興の特需も少なくなっている。また、デスティネーションキャンペーンの最中にもかかわらず、客足が伸びない。市内では全国大会が多々開催されているが、1人1室利用であることや、市内のビジネスホテルが増加していることにより、我々のような郊外の観光旅館に足を伸ばすことがない。かろうじて顧客に助けられるが、附帯売上は伸びない。

(旅行代理店) …販売状況は、個人旅行も団体旅行も震災復興需要が一旦落ち着いており、前年との比較ではやや悪くなっている。

(広告業協会) …地元広告業界はここにきて足踏み状態になっている。情報通信関係のテレビ出稿がなくなったことに加え、遊技場関連が自主規制などにより出稿をかなり減らしているからである。また大型小売店も前年同期比で落ち込んでいる。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(コンビニ) …主力の米飯が前年割れのなか、売上では100%を維持している。この要因はデザート、雑貨の伸びである。どうしても必要なものだけ買うという意識から、少しゆるくなって、デザートを買ったり、従来はコンビニより安いドラッグストアやスーパーなどで買っていた雑貨類をコンビニで買うようになっていのではないかとみられる。景気に明るい材料を見出している表れではないか。

(家電量販店) …今まで落ち込んでいたテレビの販売量が徐々に元に戻るのではないかと期待している。特に新製品の4Kテレビが販売されて、需要が再度喚起されるのではないか。その他、冷蔵庫や洗濯機、エアコンなど通常の買い回り商品、白物家電等の交換需要は引き続き堅いものがあると考えている。春あたりから単価は上がっているので、景気が少しずつ上向きになっているという感触もある。

(乗用車販売店) …新型車の投入もあり、今まで購入を渋っていた客が購入を決断するようになってきている。

(観光名所) …前年の当日の予約状況と比べても、今年の予約は増えている。また、客単価も伸びているので、このまま来客数が増えれば売上も自然と伸びていく。来た客に関しても財布のひもが緩いという感覚はある。

(住宅販売会社) …消費税が上がる新年度前の完成条件物件も多く、年内は受注量も多い。

(人材派遣会社) …求人側が求職者側の希望に沿うように、給与条件を若干手直しして再度掲載する動きが見られる。売手市場になったとはいえ、そこまでして採用を急ぐ理由がはっきりしている証拠である。求人側、求職者側双方に勢いがある。

○「変わらない」

(百貨店) …夏のボーナス支給時期にあわせ、引き続き高額商品を中心に堅調に推移すると予測するが、中元商戦時期の国政、市政の動きによる一時的な停滞も懸念される。まだまだ一部の動きが良いだけで、消費全体が良くなっているという実感はない。

(スーパー) …6月は一部団体、企業で夏期賞与の支給がある。また、中心的な支給月の7月からは上場企業で賞与が前年をやや上回るとの話も聞かれるので、消費増への期待はある。しかし、同時に食品の値上げや公共料金の支出増もあり、経営環境では競合関係も厳しさを増し、消費改善は依然として見えてこない。製造業や輸出企業などの国内への投資は薄いようにも見える。しばらくはこのままではないか。

(スーパー) …油、粉類、パン類等の値上げも控えている。また、円安による輸入品の原価高騰で、店舗における販促売価が打ち出せない状況になり、より競合店間での価格ディスカウント、消耗戦が続く見込みである。食品小売業界はいたって厳しい状況にある。

(乗用車販売店) …アベノミクス効果も地方都市には恩恵が薄く、中小企業においてはむしろ不況感が漂っている。企業状況が個人ユーザーにも波及しており、財布のひもも固い。

(住関連専門店) …今月は小間物がよく出ており、その傾向は2、3か月先も変わらないとみられる。耐久消費財は金額がはるので、景気が少し回復したといっても販売量には結び付かない。今後も小間物で勝負していくしかない。

(農林水産業) …今年の春は例年より桃の開花が1週間位早かったので、その分早目の収穫になり、お盆前の出荷が予定され、高単価で販売できると期待されている。

(食料品製造業) …デスティネーションキャンペーンが終わった後も継続して観光客が来てくれるかどうか少し心配である。円安で取引業者より値上げの要請が多くきており、原材料費の増加をどうやって吸収するか頭の痛いところである。

(土石製品製造販売) …しばらくは少し安定した状態が続き、今秋くらいからは消費税増税前の新規マンション建設や新築工事で忙しくなるものと見込んでいる。

(建設業) …社内の技術者不足や材料及び労賃の高騰から不調案件が多く見られ、先行きの不安を払しょくできない状況にある。

(公認会計士) …建設関係は、人手不足、資材高騰が影響してなかなか受注が取れず、一休み状態である。少し時間が経過しないと解消しない。

○「やや悪くなる」

(都市型ホテル) …当地ではマスコミで騒がれているような、好景気の実感は全くなく、この先の予約状況にも変化は無い。むしろ原材料の高騰が支出面で気懸かりである。

(職業安定所) …今後、電気機械器具製造業、紙・文具卸販売業、労働者派遣業等において20名から100名規模の雇用調整が予定されている。また、7月以降の電気料金値上げや円安による原材料の値上げ等によるコスト圧迫を危惧する企業が見受けられる。

○「悪くなる」

(観光型旅館) …先行して獲得すべき団体型の予約がとれていない。この業界で働き始めて10年になるが、6月というオンシーズンで初めて予約無しの休館を経験する。根本的な戦略の見直しと管理の強化が必要であり、早急に改善に取り組む必要があると考えている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上